

技能・形態・時間	聞く・発音 ペア 3分
この帯のねらい	right/light、sea/she、hat/hut——1音だけちがう単語ペアで「聞き分け→言い分け」のじゃんけんをする。日本語にない音の区別を、ゲームの勝敗が教えてくれる帯。

やり方

毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

1

Today’s pair: “right” and “light.”
今日の音のペアを確認(板書＋先生の発音を全員でまね)

2

A says one of them. B points: right or left card?
Aがどちらかを発音→Bが聞き取って左右のカード(手)を指す

3

Correct? B gets a point. Five rounds, then switch.
当たればBに1点。5回やって交代

4

Final round: teacher’s voice!
最終ラウンドは先生の発音を全員で聞き分け

ルール

・発音する側は「どちらを言うか」を先に紙にメモ(あと出し防止)

・聞き取れなかったら One more time, please! を使う(1回だけ有効)

・口の形を見るのは反則(下を向いて聞く)

きろく

やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	聞き分け正解数(/10)	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ！

週替わりペア: r/l → s/sh → b/v → a/u(hat/hut)→ 長母音(ship/sheep)。「口の形を見るの反則」を外して、あえて口元を見せ合う回にすると、発音の仕方の学び合いになる。

先生へ(この帯活動の運用)

ミニマルペアの聞き分けは、発音指導をゲーム化する最短ルート。「言い分けられない音は聞き分けられない」ので、発音する側の練習が同時に進むのがこの形式の妙。最初に音の出し方を30秒だけ明示的に教える(rは舌を巻く、lは舌先を歯茎に)→あとはゲームが反復してくれる。リスニングテストの失点源を、笑いながらつづす帯。